



茨城町のため池から、夏の夕方になると「ブオー、ブオー」と物凄い声が聞こえたりします。牛の鳴き声に似ているので「ウシガエル」と呼ばれるよく御存じのカエルで、「食用ガエル」の名でもよく知られています。

故郷はどこ

このカエルは1918年に、東京帝国大学の渡瀬庄三郎教授が食用として米国（ルイジアナ州ニューオリンズ）から十数匹を導入したのが日本に生息する始まりでした。

その後、輸出用として年間数百トンのウシガエルが生産されたと言われています。実は、この時アメリカザリガニが本種の養殖用餌として輸入された

里山に育む生きものたち

29 ウシガエル

（カエル目 アマガエル科）

学名 *Rana catesbeiana* Shaw, 1802

写真・文 / 小菅 次男

のでした。

世界の自然分布は米国、カナダ、メキシコの一部ですが、外来種として日本ばかりでなく世界に広く定着し、困った存在となっております。

国内最大級のカエル

体長11〜18センチ、体重500〜600グラム、体色は暗褐色から緑色で、国内では最大級のカエルです。みずかきがよく発達し、鼓膜は非常に大きく、メスでも眼の直径にほぼ等しく、オスではその倍近くあります。

生態

水草の繁茂する流れの緩やかな河川、池沼、湖、湿地などに生息し、夜行性で

警戒心が強く、外敵が近づくと「キャウー」と鳴き、水の中に跳躍して「どぼん、どぼん」と水音を残して姿を消してしまいます。

食性は肉食性で昆虫類、節足動物、甲殻類などを主な食物とし、魚類、両生類、小型爬虫類、鳥類、小型哺乳類さえも捕食することがあります。

産卵は水草の多いところで、5〜9月に寒天質に包まれた6千〜4万個の卵を水面にシート状に産みます。オタマジャクシで越冬し、翌年15cmほどに達し変態します。

外来種問題

大型かつ貪欲で、環境の変化に強い本種は在来種を捕食してしまうので生態系に大きな脅威を与えています。本種が生息している水域では他のカエルが見られなくなったところもあります。秋田県では、本種が侵入した池ではモリアオガエルが消えたといわれています。

世界及び日本では「侵略的外来種ワースト100」に指定されています。さらに、日本では2006年に外来生物法により「特定外来生物」に指定され、日本国内では飼育や販売が禁止されています。違反すると3年以下の懲役や300万円以下の罰金という厳しい罰則が科せられます。

編集・発行 / 茨城町総務企画部まちづくり推進課

〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町小堤1080 TEL 029-292-1111 FAX 029-292-6748

ホームページアドレス <http://www.town.ibaraki.lg.jp/> メールアドレス ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp

DATA

茨城町の人口と世帯数 ※カッコ内は前月比です。(住民基本台帳 平成26年7月31日現在)
◆総人口 33,973人 (-31)、男 17,015人 (-27)、女 16,958人 (-4) ◆世帯数 12,692世帯 (-19)

DATA

再生紙を使用しています



環境に優しい大豆インキを使用しています